

地域おこし協力隊活動報告

氏名：渡邊ゆかり

活動地域：柿崎区松留、上中山、猿毛集落

活動期間：令和3年2月～令和6年1月

地域が求める 地域おこし協力隊像

- 農業を営み、みんなと力を合わせて集落と農地の維持に取り組む。
- 6次産業につなぐ特産品の開発と流通のコーディネートに取り組む。



タイムライン

1年目のテーマ 「地域を知る・慣れる」

- ・地勢、風習など地域を知る。
- ・多くの人と触れ合い色々な話を聞く。
- ・実践したいことを模索し、目標を設定する。

3年目のテーマ 定住に向けた取組を実践する

- ・定住に向けた就農の準備を行う。
- ・2年目に体験した幅広い仕事の中から定住に向けて取り組みたい仕事を重点的に経験する。



2年目のテーマ 地域と連携し「実践したいこと」 を試す

- ・幅広い仕事に取組み多くの事を経験する。
- ・松留・上中山・猿毛集落及び上越市黒川・黒岩地区指定棚田地域振興協議会の求めに応じた業務を実践する上で必要なスキルを身に付けるため、研修会等に参加し、資格取得などを行う。

任期終了後

- ・定住し、地域社会の担い手、地域農業の担い手になる。
- ・地域イベントの運営を継続して手伝う。また、主体的にイベントを企画する。
- ・情報発信の経験を活かし地域や自身の事をPRし、地域に活力を生み出す。
- ・生活の支援を継続して行う。



活動実績①

1年目

○農業支援

- ・稲作や野菜作りを手伝う。特産品の栽培、加工、販売などを手伝う。畜産飼育の手伝い。

○地域振興支援・生活支援

- ・地域おこしイベントに参加する。テレビやラジオ出演依頼に対応する。各町内会の年間行事を把握する。積極的に行事に参加し、コミュニケーションを図る。



2年目

○農業支援

- ・稲作や野菜作りを手伝う。畜産飼育の手伝い。わな免許取得。大型特殊免許取得。

○地域振興支援、生活支援

- ・地域おこしイベントに参加する。集落の普請や行事に参加しコミュニケーションを図る。高齢者と交流し、地域の生活ニーズを把握する。



活動実績②

3年目

○農業支援

・4年目以降の就農を見据えてこれまで経験した稲作、畑作、果樹や畜産、林業など、幅広い仕事の中から取り組んでいきたい仕事の経験を積む。稲作や野菜作りを実践する。畜産飼育の手伝い、地域の特産品の新たな活用法を検討する。農産物のさらなる販売拡大を検討する。



○地域振興支援

・SNSを利用した情報発信に向けて準備をする。



○生活支援

・中山間地域での生活を支援する。行事に参加しコミュニケーションを図る。高齢者の見守りを行う。集落の普請を手伝う。積極的に高齢者と交流し地域のニーズを把握する。



○来季から農業で生活していくための準備

・栽培品目などを検討する。フォークリフト資格取得。起業講座研修等の受講。



3年間の活動のまとめ

1年目

慣れない土地で初めての仕事をし、様々な経験ができた貴重な1年でした。あたたかく迎えてくださった集落の皆さんや受け入れ農家、団体、陰ながら支えてくださる市役所、総合事務所の方々など、たくさんの方々のご理解とご協力には大変感謝しています。



2年目

担当集落において、任期終了後の就農と定住を目標に据えて実現可能な形を常に考えながらの活動でした。担当地域や受け入れ農家の皆様のご理解とご協力のお陰様で水稻栽培ができたこと、畑作においては自然薯やポップコーン用とうもろこしなどの栽培に挑戦することが出来ました。

3年目

1年目、2年目の活動の経験を活かし、3年目では就農と定住を大きな目標とし、任期終了後の生活について理想と現実のバランスの取れた具体的な設計を立てました。

できる限り地域の主要産業である稲作や今まで行ってきた支援活動などを継続することが理想だと考えています。

ただし、地域おこし協力隊として行ってきた支援活動は生活に余力がなければできません。この問題点をどのように解消するかが任期終了後の課題です。



任期終了後の活動

1.目的

- ・自立した農業経営のロールモデルを確立し明確にすることにより、将来的に移住者や新規参入者が定着する手段として活用できるようにする。

02.集落支援活動

- ・集落普請参加。用水、電柵設置撤去、草刈など。
- ・地域の方々や高齢者の方々との交流。

03.地域振興

- ・SNSを利用した情報発信をする。

4.農業

- ・水稻栽培から米の販売の手伝い。
- ・ポップコーン用とうもろこしを栽培。
- ・畜産の仕事。牛のえさやり、たい肥とり。

5.上中山集落農業経営事業

- ・畑作中心の農業経営を行う。
- ・休耕田や耕作放棄地の開拓や耕作地の維持管理を行う。

